

# 2022年版 環境経営レポート



発行年月日 2023年 8月10日

株式会社 はまさき

## 目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営活動計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
  - (1) 環境経営目標
  - (2) 環境経営活動計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日：2023年 8 月 10 日

発行責任者：環境管理責任者 濱崎 和人

次回発行予定： 2024年 8 月 頃

## 1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 はまさき

【代表者氏名】 代表取締役 濱崎 和人

### 【所在地】

本社 高知県高岡郡四万十町興津1602番地  
窪川営業所 高知県高岡郡四万十町榊山町7-58番地

### 【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 代表取締役 濱崎 和人  
連絡先担当者 取締役 濱崎 康子  
連絡先 TEL: 0880-25-0133  
FAX: 0880-25-0157  
E-mail: hamasaki@shimanto.tv

### 【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業(主に土木一式等の工事を行っています。)

建設業許可 高知県知事

許可番号 9177

許可年月日 令和5年4月21日

建設業の種類 土工事業、とび・土工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、  
解体工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業

林業(主に素材生産棟の事業を行っています。)

### 【産業廃棄物収集運搬業許可】 (自社発生物のみ)

○許可の内容 ・収集運搬業許可番号: 03900170742

・許可年月日 令和5年2月18日

・許可の有効期限: 令和10年2月17日

・事業区分: 収集運搬

・収集運搬する廃棄物の種類 汚泥、廃プラスチック類(\*1を含む。)紙くず、木くず、  
繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず  
及び陶磁器くず(\*1を含む。)がれき類(\*1を含む。)

○施設等の状況 ・運搬車両の種類と台数 ダンプ3台・軽トラック2台・ユニック車1台

### 【事業規模】

設立年月日 平成20年4月8日

資本金 2,000,000円

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
(売上高) (百万円)	198	184	180	177
従業員数 (名)	22	21	21	20
事業所敷地面積 (m <sup>2</sup> )	96	96	96	96
事業所延べ床面積 (m <sup>2</sup> )	35	35	35	35
窪川営業所敷地面積 (m <sup>2</sup> )	1750	1750	1750	1750
窪川営業所延べ床面積 (m <sup>2</sup> )	123	123	123	123

従業員数は、6月30日現在

会計年度 7月 ~ 6月

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社 はまさき 全社

本社、営業所の住所を列挙する。

本社	高知県高岡郡四万十町興津1602番地	（常駐者： 10名）
窪川営業所	高知県高岡郡四万十町榑山町7-58番地	（常駐者： 10名）

対象事業： 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、  
しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業、解体、林業

### 【レポートの対象期間】

2022年7月～2023年6月

### 【環境経営レポートの発行日】

2023年8月10日

### 【作成責任者】

環境管理責任者

濱崎 和人

### 3. 環境経営方針

#### 【環境経営理念】

株式会社 はまさき は、高知県内で土木関係の建設工事及び林業を行っています。  
地域の自然環境を守り、建設工事及び林業におけるあらゆる場面において環境保全を意識し、  
自主的、積極的に継続的改善による環境経営を行なっています。

#### 【基本方針】

1. 建設工事・林業において、環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減を、全社員に周知徹底させる事により、  
環境への配慮を促すとともに、二酸化炭素排出量を削減に努めます。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減に努めます。
4. 建設現場・林業現場及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルに努めます。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減に努めます。
6. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
7. 環境に配慮した工法の促進、環境に配慮した資材の購入及び県産品の使用を心がけます。
8. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
9. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
10. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

2010年11月15日 制定

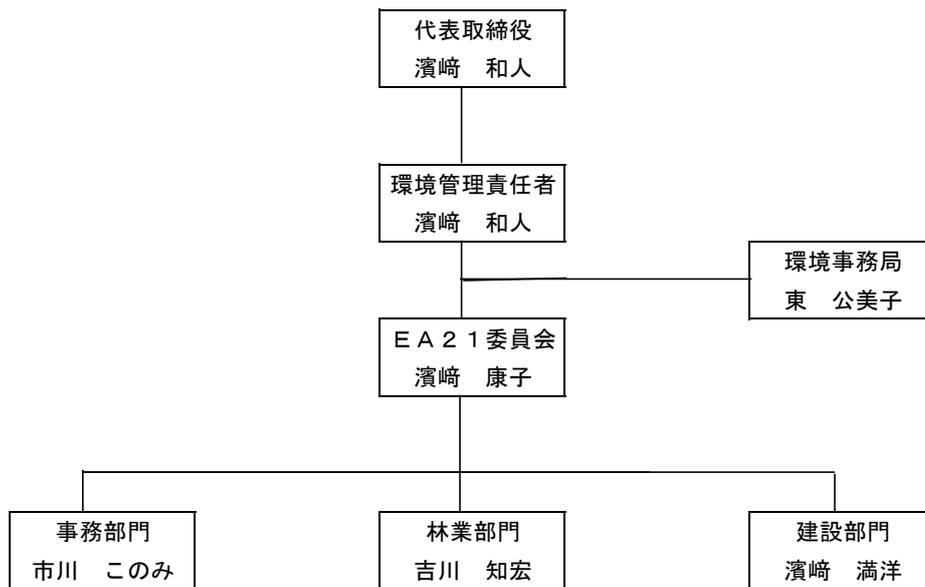
2011年4月7日 改定

2019年7月1日 改定

代表取締役

濱崎 和人

#### 4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役) 濱崎 和人	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>代表者による全体評価と見直し実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 (代表取締役) 濱崎 和人	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局 東 公美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営レポートの作成、公開</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> </ul>
E A 2 1 委員会 濱崎 康子	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
部門長 事務部門 市川このみ 林業部門 吉川 知宏 建設部門 濱崎 満洋	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施</li> <li>自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告</li> <li>自部門に係る緊急事態訓練の実施</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

### <全体概況>

- 燃料使用量の削減については、急発進・急加速・急停止の禁止・重機のエコモード運転の徹底等のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。
- 電力使用量の削減については、エアコンの温度管理、電灯等のこまめな電源オフを実施しております。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）実施しております。



### <株式会社はまさき の物質フロー>（2022年度）



## 6. 環境経営目標

(2022年度)

### (1) 単年度目標

(2022年度目標)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2022年度 目標 2022.7-2023.6
売上高		百万円	184	186
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,583	20459
	原単位	(ℓ/百万円)	112	109
軽油使用量	総量	(ℓ)	51,422	51114
	原単位	(ℓ/百万円)	279	273
電力使用量	総量	(kWh)	19,932	19812
	原単位	(kWh/百万円)	108	106
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	189,932	188792
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	1,032	1007
用水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	203	202
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	1	1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	772	767
	原単位	(kg/百万円)	4	4
産業廃棄物排出量	総量	(t)	185	184
	原単位	(t/百万円)	1	1.0
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.6	100
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	10	10
環境美化活動	総量	(回)	10	10

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(令和1年度実績)

(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.411(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

(令和3年1月7日公表)の香川電力の調整後排出係数0.539(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

### (2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績（基準年）	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
売上高		百万円	184	185	186	187
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,583	20,521.01	20459.26	20397.52
	原単位	(ℓ/百万円)	112	111	110	109
軽油使用量	総量	(ℓ)	51,422	51,268.11	51113.85	50959.58
	原単位	(ℓ/百万円)	279	277	275	273
電力使用量	総量	(kWh)	19,932	19,872.20	19812.41	19752.61
	原単位	(kWh/百万円)	108	107	107	106
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	189,932	189,361.88	188792.09	188222.29
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	1,032	1,024	1015	1007
用水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	203	202	201	200.00
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	1	1	1	1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	772	769.68	767.37	765.05
	原単位	(kg/百万円)	4	4	4	4
産業廃棄物排出量	総量	(t)	185	184.45	183.90	183.34
	原単位	(t/百万円)	1	1	1	1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.6	100	100	100.00
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	10	10	10	10
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

\* 1. 環境負荷の少ない工事の目標に対する基準

- ・現場における適材適所の機械使用を心掛ける
- ・低騒音、低振動型機械の採用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・環境負荷の好きない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

## 7. 環境経営計画

期間： 2022年 7 月 ～ 2023年 6 月

項目		活動内容	担当者	期間	
CO2 排出量 削減	燃料使用量	事務所	○エコドライブの実践	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30
			○社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備をする。	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30
			○自動車のからぶかしの防止	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30
	電力使用量	現場	○建設機械のからぶかしの防止		
			○環境対策型建設機械の使用	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30
			○エアコン温度設定及び室温管理	市川・東	R4. 7. 1～R5. 6. 30
			○昼休み、休憩時には消灯する。	市川・東	R4. 7. 1～R5. 6. 30
	用水使用量削減	排水量	○パソコン・コピー機等の未使用時は、省電力消費になる様設定する。	市川・東	R4. 7. 1～R5. 6. 30
			○エアコンのフィルター清掃及び室外機の簡易点検	市川・東	R4. 7. 1～R5. 6. 30
			○無駄使いしないように全員に徹底する	市川・東	R4. 7. 1～R5. 6. 30
廃棄物削減	一般廃棄物	○雨水・川の水等の活用	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○水道配管からの水漏れを、定期的に点検する	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○分別してリサイクルする	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○使い捨ての物を購入しない	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○コピー用紙の裏面利用による使用量の削減	市川・東	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
	産業廃棄物	○両面コピーの推進	市川・東	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○書類管理の紙以外の媒体使用の推進	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
環境負荷の少ない工事		○分別してリサイクルする	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○産業廃棄物のマニフェスト管理の徹底及び再資源化処理施設への搬出推進	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○現場における適材適所の機械使用を心がける	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○低騒音・低振動型機械の採用	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
環境美化活動		○型枠、工事看板への間伐材の使用	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○現場周辺の住民への周知徹底	濱崎・吉川	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○各種研修、講習への参加	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30	
		○ボランティア活動への参加	濱崎	R4. 7. 1～R5. 6. 30	

## 8. 環境経営目標の実績

### (1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2022年度 目標 2022.7-2023.6	2022年度 実績 2022.7-2023.6	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	184	186	177	95	×
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,583	20459	20,702	101	×
	原単位	(ℓ/百万円)	112	110	117		
軽油使用量	総量	(ℓ)	51,422	51114	48,978	96	○
	原単位	(ℓ/百万円)	279	275	277		
電力使用量	総量	(kWh)	19,932	19812	16,318	82	○
	原単位	(kWh/百万円)	108	107	92		
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	189,932	188792	182,693	97	○
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	1,032	1015	1,032		
用水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	203	201	48	24	○
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	1	1	0		
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	772	767	765	100	○
	原単位	(kg/百万円)	4	4	4		
産業廃棄物排出量	総量	(t)	185	183.9	150	81	○
	原単位	(t/百万円)	1	1	1		
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.6	100	97.3	97.3	○
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	10	10	10	100	○
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	100	○

- \* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（令和1年度実績）  
 （令和3年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0.411（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。  
 （令和3年1月7日公表）の香川電力の調整後排出係数0.539（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。
- \* 2. 環境負荷の少ない工事  
 ○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用  
 ○低騒音、排出ガス対策型重機の使用  
 ○型枠、バリケードへの間伐材の使用
- \* 3. 評価は、目標に対しての達成率が95%以上なら「○」、95%未満なら「×」で評価する。
- \* 4. 化学物質の使用は無いため、目標設定も無

#### <環境経営目標未達成等理由>

○ガソリン増加は、下請を含み遠方での工事受注増によるもの、及びコロナの為に密を回避するため通勤車両を増加したためだった。

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績（基準年）	2021年度 実績	2022年度 実績
売上高		百万円	184	180	198
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,583	22,248	20,702
	原単位	(ℓ/百万円)	112	124	105
軽油使用量	総量	(ℓ)	51,422	40,269	48,978
	原単位	(ℓ/百万円)	279	224	247
電力使用量	総量	(kWh)	19,932	15,013	16,318
	原単位	(kWh/百万円)	108	83	82
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	189,932	165,013	182,693
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	1,032	917	923
用水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	203	49	48
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	1	0	0
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	772	770	765
	原単位	(kg/百万円)	4	4	4
産業廃棄物排出量	総量	(t)	185	63.4	146
	原単位	(t/百万円)	1	0	1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.6	84.3	97.3
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	10	10	10
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10

## 9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2022年 7月 ～2023年 6月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO2 排出量 削減	燃料使用量	事務所 現場	○エコドライブの実践	○	現場管理用車両の増車増員により、ガソリンが目標達成できなかった	令和7年3月頃までにハイブリット車や電気自動車の導入を検討していく
			○社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備をする。	○		
			○自動車・機械のからぶかしの防止	○		
			○建設機械のからぶかし防止	○		
			○環境対策型建設機械の使用	○		
	電力使用量	現場	○エアコン温度設定及び室温管理	○	意識改革が徹底されてきた	今後も継続していく
			○昼休み、休憩時には消灯する。	○		
			○パソコン・コピー機等の未使用時は、省電力消費になる様設定する。	○		
		○エアコンのフィルター清掃及び室外機の簡易点検	○			
用水使用量削減	排水量	○無駄使いしないように全員に徹底する	○	意識改革が徹底されてきた	目標達成に留まらず更なる削減のため、節水蛇口への交換等を検討していく	
		○雨水・川の水等の活用	○			
			○			
		○水道配管からの水漏れを、定期的に点検する	○			
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別してリサイクルする	○	ゴミの分別、処理は適正に行っている	現場等の状況に左右されることは仕方がない中で、意識改革は定着しているため、今後も更なる減少を目指していく	
		○使い捨ての物を購入しない	×	コロナの影響もあり紙コップ等の購入があった		
		○コピー用紙の裏面利用による使用量の削減	△	利用できていない部分もあった		
		○両面コピーの推進	○	適正に行っていた		
		○書類管理の紙以外の媒体使用の推進	△	発注者指示により紙での提出があった		
	産業廃棄物	○分別してリサイクルする	○	廃棄物の分別、処理は適正に行っている		
		○産業廃棄物のマニフェスト管理の徹底及び再資源化処理施設への搬出推進	○	マニフェストの交付は適性に行われているがれき類は工事現場により増減があり目標値が設定しづらい		
環境負荷の少ない工事		○現場における適材適所の機械使用を心がける	○	低騒音のみならず、排ガスにまで配慮して機械選定を行っていた	意識改革も進んできているが、間伐材の使用に関して型枠・工事看板のみならず、他にも利用できないか検討を進めていく	
		○低騒音・低振動型機械の採用	○			
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	○			
		○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	○			
環境美化活動		○現場周辺の住民への周知徹底	○	ボランティア活動については、地域の方々からお褒めの言葉をいただける等、成果を上げてきている	目標達成に留まらず、今後も更に地域貢献できるよう尽力していく	
		○各種研修、講習への参加	○			
		○ボランティア活動への参加	○			

\* 1. 取組結果についての評価は、達成していれば○、前年同数なら△、未達なら×で評価する

## 具体的な取組状況

### 1. CO<sub>2</sub> 排出量削減

#### (1) 燃料使用量削減



##### 急発進・急加速・急停止の禁止

令和2年 7月に社用車内に「急発進・急加速・急停止の禁止」のシールを貼付、引き続き燃料使用量削減の啓発を行っています。



##### 重機のエコモード運転の徹底

令和2年 7月に全ての重機に「エコモード運転の徹底」のシールを貼付、引き続き燃料使用量削減の啓発を行っています。



##### 車の相乗りの徹底

工事現場へ行く時は、適度に距離をとり、マスク着用で相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。

#### (2) 電力使用量削減



##### 昼休みの消灯

本社事務所・窪川営業所の照明を昼休み（12時～13時）外出時は消灯し、節電に努めています。

### 2. 廃棄物の削減

#### (1) 一般廃棄物の削減



##### コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにより、コピー用紙の使用量削減に努力しました。



##### ペットボトルの分別管理



ペットボトルを分別して町の回収に出しています。



ペットボトルのキャップを収集して  
まとめて回収に出しています。

## 5. 環境負荷の少ない工事



### 低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称:興津地区 後川河川災害復旧工事

工事期間:2022年9月13日 ~2023年3月31日

工事場所:高知県高岡郡四万十町

低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。

## 6. 環境美化活動



### ロードボランティア活動

県道の中央分離帯のロードボランティア

活動を行い、草引き・花植え等の美化活動を行いました。

(年10回実施)

## 10. 次年度の取組内容

### (1) 環境経営目標

#### (1) 単年度目標

( 2023年度)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6
売上高		百万円	184	185
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,583	20,398
	原単位	(ℓ/百万円)	112	110
軽油使用量	総量	(ℓ)	51,422	50,960
	原単位	(ℓ/百万円)	279	275
電力使用量	総量	(kWh)	19,932	19,753
	原単位	(kWh/百万円)	108	107
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	189,932	188,222
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	1,032	1,017
用水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	203	201
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	1	1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	772	765
	原単位	(kg/百万円)	4	4
産業廃棄物排出量	総量	(t)	185	183
	原単位	(t/百万円)	1	1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.6	100
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	10	10
環境美化活動	総量	(回)	10	10

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数（令和1年度実績）

（令和3年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0.411（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。

（令和3年1月7日公表）の香川電力の調整後排出係数0.539（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。

\* 2. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○バリケードへの間伐材の使用

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績(基準年)	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
売上高		百万円	184	185	186	187
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,583	20,521.01	20459.26	20397.52
	原単位	(ℓ/百万円)	112	111	110	109
軽油使用量	総量	(ℓ)	51,422	51,268.11	51113.85	50959.58
	原単位	(ℓ/百万円)	279	277	275	273
電力使用量	総量	(kWh)	19,932	19,872.20	19812.41	19752.61
	原単位	(kWh/百万円)	108	107	107	106
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	189,932	189,361.88	188792.09	188222.29
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	1,032	1,024	1015	1007
用水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	203	202	201	200.00
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	1	1	1	1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	772	769.68	767.37	765.05
	原単位	(kg/百万円)	4	4	4	4
産業廃棄物排出量	総量	(t)	185	184.45	183.90	183.34
	原単位	(t/百万円)	1	1	1	1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	91.6	100	100	100.00
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	10	10	10	10
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

10. 次年度の取組内容  
(2) 環境経営計画

期間： 2023年 7 月 ～ 2024年 6 月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの実践	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備をする。	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○エンジブレーキを使用し、極力一定速度を心がける	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○重機のエコモード運転の徹底	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○排ガス対策型建設機械の使用する	濱崎	R5.7.1～R6.6.30
	電力使用量 削減	○エアコン温度設定及び室温管理	市川・東	R5.7.1～R6.6.30
		○昼休み、休憩時には消灯する。	市川・東	R5.7.1～R6.6.30
		○長時間使用しないパソコン等は、電源を切るオートストップ等	市川・東	R5.7.1～R6.6.30
	○エアコンのフィルター清掃及び室外機の簡易点検	市川・東	R5.7.1～R6.6.30	
用水使用量削減 (排水量削減)		○水は使用の都度止水する	市川・東	R5.7.1～R6.6.30
		○雨水・川の水等の活用	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○水漏れ等の点検	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別してリサイクルする	濱崎	R5.7.1～R6.6.30
		○使い捨ての物を購入しない		R5.7.1～R6.6.30
		○書類管理の紙以外の媒体使用の推進	市川・東	R5.7.1～R6.6.30
		○ミスコピー、不要コピーの削減	市川・東	R5.7.1～R6.6.30
		○ミスコピーの裏面使用、両面コピーの促進	濱崎	R5.7.1～R6.6.30
	産業廃棄物	○分別してリサイクルする	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○産業廃棄物のマニフェスト管理の徹底及び再資源化処理施設への搬出推進	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○再生資材の使用	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
	○発生材の再利用の促進	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30	
環境負荷の少ない工事		○現場における適材適所の機械使用を心がける	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○低騒音・低振動型機械の採用	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
環境美化活動		○各種研修、講習への参加	濱崎	R5.7.1～R6.6.30
		○災害協力、林道等の自主的な修繕	濱崎・吉川	R5.7.1～R6.6.30
		○ボランティア活動への参加	濱崎	R5.7.1～R6.6.30

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規等の取りまとめ表

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	社長	○	R4.7.1
	第7条の13項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	事務	○	R4.7.1
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	現場監督	○	工事着工時
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	現場監督	○	R5.6.1
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	現場監督	○	廃棄物排出時
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	事務	○	R5.6.1
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ 3ヶ月前	事務	○	R4.10.1
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	現場監督	該当なし	保管した時
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	現場監督	○	必要時
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	現場監督	○	建設資材廃棄物の発生時に、現場ごと
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m <sup>2</sup> 以上 新築・増築：床面積500m <sup>2</sup> 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	現場監督	該当なし	必要時
騒音規制法	第5条 第6条	○騒音規制基準の遵守（特定工場等） ○特定施設の設置届 （特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出）	必要時 設置工事開始時	現場監督	○	設置工事開始時
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時			
振動規制法	第5条 第6条	○振動規制基準の遵守（特定工場等） ○特定施設の設置届 （特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出）	必要時 設置工事開始時	現場監督	○	設置工事開始時
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時			
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の17	解体等工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに説明するとともに、その結果等を解体等工事場所へ掲示	必要時	現場監督	該当なし	必要時
消防法	第8条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出）	必要時			

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	現場監督	該当なし	設置工事開始時
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の	必要時	現場監督	該当なし	必要時

		危険物貯蔵)				
	第17条の3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	現場監督	該当なし	
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告	年1回	社長	該当なし	
	第5条	○簡易点検の実施 エアコン：3.7kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：3.7kW以上 ○重機のフロンの点検の実施	1回/3か月 1回/3年 1回/年 1回/年 1回/3か月	事務・現場監督	○	
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	第11条	○フロン類回収業者の使用済自動車の引取業者からの引取義務	必要時	社長	○	必要時
	第12条	○フロン類回収業者の使用済自動車搭載のエアコンからのフロン類の回収義務				
	第15条	○解体業者の使用済み自動車の引取義務				
	第16条	○解体業者の使用済み自動車の再資源化の義務				
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	現場監督	該当なし	該当なし
水質汚濁防止法	第5条	○特定施設の設置届 (施設の設置工事開始60日前までに都道府県知事に届出)	必要時	現場監督	該当なし	該当なし
	第7条	○特定施設の構造等の変更の届出 (施設の設置工事開始60日前までに都道府県知事に届出)	必要時	現場監督	該当なし	該当なし
	第12条	○事業所排出口における排水基準に適合しない排水の排出制限	必要時	現場監督	該当なし	該当なし

**(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無**

2022年7月より 2023年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。  
 遵守評価日：2023年7月21日

**環境関連法規等の取りまとめ表  
(条例)**

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	社長	○	必要時
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	社長	○	必要時
四万十町環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	社長	○	必要時

**環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (条例)**

2022年7月より 2023年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。  
 遵守評価日：2023年7月21日

## 12. 代表者による全体評価と見直しの結果

実施日 : 2023年7月22日

### 《 全体評価 》

環境経営方針に基づき環境負荷の低減に対する取り組みを行ってきた。各現場においても環境活動の取り組みに対する意識の向上がみられるようになってきた。

次年度も、さらなる目標にむかって社員一同活動に取り組んでいきたい。

### 《 環境経営方針 》

変更なし:見直しを行わなかった

### 《 環境目標・経営計画・実施体制 》

変更なし:今年度はそれぞれの変更はなかった

### 《 個別目標 》

#### ・電力

社員の意識改革が徹底されてきたため、目標は達成できたが、それに留まらず、更なる削減に努めていく

#### ・燃料

ハイブリット車の増車及び電気自動車の導入を検討していく

#### ・廃棄物量

本年度は目標達成には至ったが、業界の特性上避けられない増加も考慮し、現場での削減に向けた意識改革は継続して徹底していく

#### ・水道水

雨水・川の水の活用を積極的に行うことでさらなる削減に努めるとともに、節水蛇口への交換等も検討していく

#### ・環境配慮

今後も継続して環境への配慮を行っていく

### 《 実施体制 》

変更なし

### 13. その他の取組

#### 1. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
土木の日	R4. 11. 18

